

1月 校長メッセージ

新しいことに挑戦すること、新しいことを学習する方法

「新しいことに挑戦すること、新しいことを学習する方法」について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

さて、私は今年 60 歳になります。自分が中学生、高校生だった頃、60 歳の人はとても年配だと思っていましたが、その年齢になろうとしている自分自身を省みると、まだまだ成長過程にある「未熟者」でしかないと自己認識しています。あと何年教員の仕事ができるかわかりませんが、新しいことにどんどん挑戦し、新しいことを取り入れて、自分自身をリニューアルして、向上していきたいです。

では、まず何から挑戦するか、新たに何を学習するか。やりたいことはいっぱいありますが、時間とお金には限りがあるので、何でもかんでもというわけにはいきません。これからの私にとって一番必要なものは何だろう、自分の可能性をさらに広げることができる知識は何だろう、それを優先的に学習したいと考えた末に、「そうだ！それは数学だ」と思いつきました。

現在の社会を動かしているあらゆる技術には、背景に数学の理論と数学的な思考力があります。コンピュータやネットワーク、AI や VR、仮想通貨や HFT (High Frequency Trade)、具体的な例は枚挙にいとまがありません。そして、これからの時代はますますその重要性は増していくと思います。

実は、私は高校 2 年生に時に、都立高校から青森の県立高校に転校しました。最初に在籍していた都立高校は小石川と同じようなカリキュラムで、全教科、科目を全員が勉強し、高校 3 年生の自由選択で自分の勉強したい科目を履修するスタイルでした。全教科、科目を学習するため、ゆっくりとした進度で授業は進んでいました。ところが転校した青森の学校は入学後の早い時期から進路別にクラスが分かれていて、国立文系進学クラス、国立理系進学クラス、私立文系進学クラス、私立理系進学クラスという分かれ方をしていて、都立高校よりも数学、理科が相当先に進んでいました。転校先の進度に追いつくため、私は結構な努力をしましたが、どうしても追いつけない分野がいくつもできてしまいました。自分で勉強して、その時は分かったつもりになっていても、理解が浅くて、すぐに忘れてたり、本質を分かっていなかったりする分野ができました。その経験から、私は、中学生や高校生の時は、学校で先生に教えてもらうことがいかに重要かを感じています。

例えば微分・積分です。皆さんは微分・積分は得意ですか？私が高校 2 年生で転校した時は、都立高校に在籍していたときはまだ微分・積分を学習していなくて、青森の高校ではすでに基礎内容を学習していたようです。同じことが数列、行列、確率、統計にも言うことができ、その後自分で勉強しましたが、理解が中途半端で自分のものになっていないまま、この年齢になってしまいました。

では数学を自分で勉強しようとしたときに、どんな学習方法があると思いますか？私は

まず本屋さんに行って私でも分かりそうな参考書を買うことにしました。本屋さんに行く
と絵入りで面白そうな参考書が何種類も出ています。大きな書店に行くと、ものすごく難し
い数学の専門書も出ています。

別の方法を考えて思いついたのが、数学の公開講座に行くという方法です。検索語を「数
学」「公開講座」とか「市民講座」にして検索すると、いくつもの大学が初学者向けの数学
の公開講座を行っていることが分かりました。しかも、こうした公開講座は現在ではオンラ
イン開催になっていて、わざわざ大学に行かなくても受講できるようになっています。これ
は勉強するのにとても便利なことです。

通信教育の講座で「数学」を勉強できるものはないかも調べてみました。大人向けのオン
ライン講座もたくさんあることが分かりました。そして本来中高生向けの「○○ゼミ」や「○
○サプリー」でも学び直しができることも分かりました。

動画による勉強方法があります。YouTube を検索すると、これもあらゆる種類の数学の
授業動画が配信されていました。皆さんの中には利用している人もいるかもしれません。人
気講師による動画だと 750 万回も再生されていることが分かりました。

結論で言えば、今の時代はやる気があれば、自分で勉強をする方法がたくさんある、勉強
方法の選択肢がたくさんあるということです。今、例に挙げた方法以外で皆さんが知ってい
る方法があったら私に教えてください。私は朝の早い時間ならば校舎のどこかを掃除して
いますので、気軽に話しかけてください。皆さんも自分で勉強したい科目や新しく挑戦した
い分野があれば、自分の良い方法を選んでがんばってください。皆さんの今年の新しいこと
への挑戦を期待しています。